第47回大垣市景観遺産審議会 会議録

日　時：令和6年10月2日（水）　15時45分から17時00分まで
場　所：大垣市役所　4階 情報会議室
議　題：大垣市景観遺産及び景観自慢の指定について　ほか
出席委員（敬称略）
　溝口　正人（会長）、髙木　朗義（会長代理）、鈴木　隆雄、杉原　重明、谷口　隆康
【計5名】

市及び事務局
　河瀬　良康　（都市計画部長）
　清水　克人　（都市計画課長）
　河田　憲章　（都市計画課長（公共施設プロジェクト担当）
　佐竹　一仁　（都市計画課長（計画調整担当））
　髙田　康成　（都市計画課景観整備グループ主幹）
　篠田　尚志　（都市計画課景観整備グループ主査）
　角　　夏希　（都市計画課景観整備グループ主事補）
　田中　一輝　（文化振興課郷土歴史・文化財活用グループ主査）　【計8名】

	（開始時刻　15:45）
事務局 （都市計画課長）	※開会にあたって委員の過半数出席による会議の成立を報告。
事務局 （都市計画部長）	※都市計画部長あいさつ（略）。
事務局 （都市計画課長）	※議事進行は、大垣市景観条例施行規則第39条第2項の規定により、会長が会務を総理することを報告。
会　長	※議事⑵に移行。議事録署名者として鈴木委員を指名。 ※令和6年7月30日付け「大垣市景観遺産及び大垣市景観自慢の指定について（諮問）」により諮問があったため、議題とすることを報告。13時30分から実施した現地審査の結果について、事務局に説明を要請。
事務局 （都市計画課主幹）	※現地審査結果表に基づき、現地審査の集計結果を報告。
会　長	・ありがとうございました。現地審査の集計結果について事務局より説明していただきました。この結果を参考に審議を行いたいと思います。 はじめに、[redacted]について審議したいと思います。

	《物件審議》 【(1) [redacted]】
会　長	・委員の皆さん、ご意見がありましたら、お願いいたします。 ・現地を拝見して、論点は二つあったかと思います。まず、[redacted]からの眺望という点では、「[redacted]」の方で既に景観遺産の設定がありますが、高い所から、近代に整備されたという[redacted]越しに、濃尾平野を見晴るかす景観が特徴的であるというのが一点。また、現地で[redacted]を拝見した上で、この[redacted]が、同じく景観遺産である[redacted]を出発して、ここまでやって来るという、ある種の祭礼空間としての位置付けという点、この二つの視点があるのかなというのが、委員の先生方のコメントにも表れているかと思います。 ・これを、眺望景観という群としてまとめて評価するか、単体の景観遺産、あるいは景観自慢として切り離して評価するかという問題もあるかと思います。 ・[redacted]委員、いかがでしょうか。
委　員	・[redacted]が素晴らしかったのですが、あの[redacted]が上ってくる姿も含めての景観と考えると、今までの有形の景観遺産とは違う、新たに無形のものを景観遺産とするような、新しいカテゴリーを作ることを検討してもよいのではないかと考えました。 ・「モノ」だけでなく「コト」自体を景観遺産にできれば、まだまだ大垣は残していきたいものが沢山ありますので、それをまちづくりに繋げていけるという意味でも、そういった方向性があってもよいのではないかと思います。
会　長	・ありがとうございます。無形の「コト」をどう評価するかということですが、祭礼空間という点では宝光院（ひだりめ不動）などが同じような所ですが、ここの場合は[redacted]ということで、時間の経過とともにそこを移動していく、いわゆる歴史的風致のある空間と、その背景にある眺望。それをセットで評価して、単体で景観遺産または景観自慢として設定していくのか、[redacted]も含めた、[redacted]からの眺望ということでまとめて評価していくのか。この点の審議が必要かと思います。
委　員	・季節や行事、あるいはそこでの人々の動き、そういったものも含めて見ると、素晴らしいと感じました。[redacted]自体はこれから先どうなるかといったところですが、こうやって見直してみると、非常に価値があると思います。

委　員	・私も[redacted]委員と思いは殆ど同じなのですが、現在の評価基準ではなかなか難しいかと感じます。有形・無形それぞれを評価するような枠組みが大垣市にあるのであれば、そちらで取り上げるという考え方もあると思いますし、大胆に、[redacted]委員がおっしゃったような枠組みをここに導入して取り上げるというのもあるかと思いますが、ここで結論を出せるものかどうか、難しいところです。
会　長	・祭礼そのものは無形の文化財指定は受けていないということですね。
事務局 （文化振興課担当者）	・指定されていません。
会　長	・確かに、この[redacted]が正にそうですが、[redacted]も近代的なものですので、無形文化財の方で指定するのはなかなか難しいかと思われます。[redacted]も、祭礼そのものが民俗文化財の範疇にないと、括りにくいということで、有形も含めて外れていると推察されます。 ・この[redacted]のような、移動のプロセスの空間を評価するというのは、景観遺産としては今まで指定していなくて、どちらかというと烏帽子岳のように写真として切り取るようなやり方をしてきたので、その辺りを、今後のことも含めて、郷土性だとか表象性といったところでどう評価するのか、遺産までいくのか自慢に留めるか、悩ましいですね。 ・[redacted]からの景観も含めて、合わせ技もあるかという感じもしたのですが、そうしてしまうと、[redacted]が上がって来るこの祭礼の空間そのものが評価されず、この[redacted]の魅力のひとつが失われてしまうような感じがします。 ・いずれにしても、名前としては「[redacted]」というだけではなくて、「眺望と祭礼空間」、「眺望と祭礼」など、そういった言葉を付け足すのが、今回応募いただいた内容と、現地審査の結果からしてふさわしいと思いますが、いかがでしょうか。
委　員	・「[redacted]」という言葉を付けた方がよいと思います。
会　長	・「[redacted]」としますか。
委　員	・[redacted]については「[redacted]」という、複合的なタイトルになっています。確かに、[redacted]、とすれば、[redacted]など、色々見所はあると思いましたので、境内地、あるいは[redacted]とそこからの眺望といったところに落ち着きそうかと思います。樹木の伐採の進み方によっては、西への眺望も広がるかもしれません。

会　長	・[redacted]とそこからの景観ということですかね。少し長くなりますが、一番長い名前は何でしたでしょうか。
事務局 （都市計画課担当）	・「日本昭和音楽村江口夜詩記念館及び水嶺湖周辺」です。こちらも複合的な名前です。
委　員	・タイトルに「[redacted]」を入れて、説明文の中で[redacted]と祭礼について書くというようなことも可能です。
会　長	・そうですね。「[redacted]」として、説明文に[redacted]と祭礼と、市街地への眺望の内容を入れるということで、事務局の方でまとめていただいた上で、改めて委員の先生方にお目通しいただきたいと思います。残りは、景観遺産か、景観自慢かというところですが、いかがでしょうか。 ・この[redacted]の写真もパンフレット等に使っていただくとして、ロケーション的な特徴からすると景観遺産でしょうか。「[redacted]」ということで、景観遺産に指定ということでよろしいでしょうか。
全委員	・異議なし。
会　長	・ありがとうございます。
	【(2) [redacted]】
会　長	・次に、(2)[redacted]について審議したいと思います。[redacted]委員がご指摘のように、[redacted]そのものは、近世までの[redacted]時代のものとは違うのかなという感じがしました。建築の領域から説明させていただくと、あの[redacted]は近代のものと思われ、[redacted]に石灰岩が使われているのは大垣らしいのですが、この[redacted]が[redacted]時代のものとして評価できるかというと、難しいように思いました。 ・元々の[redacted]の風情を踏襲して、近代において作られた[redacted]であるということをどう評価するかですが、文化財には文化的景観というジャンルができています。例えば、[redacted]の文化的景観の場合だと、古い[redacted]かどうかという話ではなくて、[redacted]が残っていて、道路に向かって[redacted]があり、[redacted]というのが、近世のものではなくても、ある種の歴史的風致を作り上げているものとして、評価されていたりします。 ・[redacted]委員は群Ａ、群Ｂとされていますが、やはり[redacted]なども含めて、あの辺り一連での評価ということでしょうか。

委　員	・そうですね。
会　長	・もう一点は、現地で確認したところ、色々な意味で風前のともし火という印象で、そこをどう捉えるかですね。[redacted]が作られていますが、[redacted]がないので、間口一間ほどの[redacted]が垂れ下がっています。現状のままだと[redacted]が落ちてきて、ある種危険なところもありますので、きちんと修理をしていただくことが喫緊の課題にもなってきます。かつ、その際には補助をして、旧状を確認しながら戻していくことが必要と思います。[redacted]なども近代の仕様で、あれをどうするのかといった事も含めて。 ・空襲で古いものが残っていない所に、景観要素として、あえてこういう小規模なものをきちんと残して、行政としての意思を示すのか、かなり老朽化も進んで、所有者の方も撤去を視野に入れているということで、見送るのか、景観行政的な判断になるのかなという感じがいたしますが、[redacted]委員、いかがでしょうか。
委　員	・随分傷みもあるし、修復の手も加わっているので、始めは×に近いと思って見ていたのですが、じっくり拝見すればするほど、歴史的な価値があるかどうかは別にして、[redacted]、ましてや[redacted]としての風情を残すという点で、評価ができると感じました。また、まちを案内したり見たりする時に、お祭りなどで人が集まる[redacted]の前にあって、しかも[redacted]が目の前を流れているというのは、場所としてとても良いです。 ・基礎の部分の[redacted]ですが、[redacted]でよく使われた[redacted]を[redacted]にして隙間を無くし、しかも表面を削って調整しています。その辺り、基礎も含めて、[redacted]らしいものではないかということで、悩んだ結果、最終的には該当とさせていただきました。
会　長	・僅か[redacted]あるか否かの[redacted]ですが、[redacted]委員にご説明いただいた通りかと思います。この後報告があるのでしょうか、大垣城を中心に景観を整備していく時に、船町のような商家の町家もさることながら、城下町においては[redacted]が沢山のエリアを占めるわけで、近代のものであってもその風情を残しているものを評価して、景観遺産とすることで施策を見える化する、ＰＲするということだろうと思います。 ・ものとしては壊れかけの[redacted]なのですが、やはりあの場所で、基礎も含めて残っているということと、今後行政として、保存の相談に乗りながら、大垣城を中心とした景観をどう考えているかを示すための存在として、重要だと思います。[redacted]委員も書かれていますが、[redacted]と[redacted]も含めての景観として、物語としてその場で語れるものが有るか無いかで、まち歩きも随分変わってきますので、その辺りを[redacted]委員も取り上

	げられたと思います。
委　員	・船町の水門川沿いの様相に対して、[redacted]辺りの[redacted]の、[redacted]のように綺麗に整備された[redacted]と、[redacted]はあの時代にあったのかなとは思いますが、いずれにせよこの辺りに[redacted]があったという元の様相が垣間見える意味で、大変驚いたというか、見直したという感覚です。
会　長	・そうですね、この昭和初期の写真の状態であればとても素敵です。
委　員	・[redacted]との関りがあるかは分かりませんが、貴重なものが残っていたなと思います。
会　長	・先程の文化的景観の話で言えば、金沢などでも取り組まれているわけですが、必ずしも古いものがすべて残っているということではなくて、今後、[redacted]としての景観づくりを進めていく時に、[redacted]などの雰囲気を生み出すものの整備に対しての補助を検討するなど、景観計画の中で、重点地区およびその周辺をどのように扱っていくかということを示すスタート事例と言いますか、そういう種として、これが有ると無いとでは、かなり違ってくると思います。 ・この審議会の枠から外れるところではありますが、今回この物件を答申するということは、行政の側に、[redacted]の景観というものをどのように考えていくかという、今後の整備の取っ掛かりであるという意味合いを認識いただいた上で、景観遺産にするということだろうと思います。 ・[redacted]の辺りを今後どうするのか、[redacted]で修景するということになるのだろうと思いますが、そうした場合に、そこまで景観遺産の枠組みの中でカバー可能なのかということも、今後、行政の側で検討いただく課題かと思います。そういういくつかの課題がある前提で、可能であれば景観遺産として選定すると。今後のスケジュールとしては、所有者の方にどこまでご理解を得られるのか、それから、[redacted]ようにしないといけいないので、安全性を保つ観点から、今後どのように手を入れていくか、そういった事もすぐ課題として挙がってくると思いますが、今日の段階では、景観遺産として取り上げるということにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委　員	・ちゃんと修繕をして、残していくという意思があればいいと思います。このままではちょっと厳しいかと思います。
会　長	・そうですね、[redacted]のはずなのに下半分は[redacted]を全部落としていて、ひょっとすると水が付いたりして土が落ちてしまって、また塗っても落ちてし

	まうので、[redacted]だけ貼ったのかもしれないという感じもしたので、その辺りの復旧も考えると、相応の費用も見込まなければならないわけですが、事務局には、今後、行政側としてどのような手の差し伸べ方があるかということも説明していただいた上で、所有者の意向を確認していただくということで、今日の段階では一旦、景観遺産の候補として挙げるということにいたします。 【⑶ [redacted]】
会　長	・続きまして、⑶[redacted]について審議いたします。 ・鎌倉街道にあたる道筋はどれでしょうか。
委　員	・はっきりとはしないですが、現地でいただいた資料の中では、[redacted]の前を通っている道がそうだろうという話でした。
会　長	・[redacted]として、この状態で景観遺産にするのか、景観自慢なのか判断に迷うところですが、景観遺産には至らないのではないかというのが、[redacted]委員のご意見ですね。
委　員	・はい。
会　長	・[redacted]先生はいかがでしょうか。
委　員	・どうしても歴史的な部分を過大評価してしまうのですが、見た目もさることながら、この背景にそういうことがあるのかと知ると、より意義深く感じれます。そういう意味で群Ｂとしましたが、なぜ群Ａではなくて群Ｂかというと、この[redacted]の今の姿が昔からのものをそのまま伝えているかというと、やはり疑問がありまして、ただ、現地で色々教えていただいた、水害との関係や鎌倉街道、それから西側の道が土手のようになっていて、さらにその向こう側が[redacted]だったのではないかというような話も含めて、当時の景観を偲ばせるものかなという思いで、群Ｂとしました。
会　長	・古くから人々が住み続けている場所ではあって、史跡なのか、名勝になるのかは分かりませんが、そういった意味合いはあるかと思います。ただそれが景観的に可視化されているかというとどうか、というのが[redacted]委員のご指摘で、そのとおりかと思います。 ・周辺がいまだに村落的な景観を残していて、その中の[redacted]という意味では、とてもほっこりした場所で、濃尾震災で大きな被害を受けたにせよ、[redacted]がこの地域の[redacted]として、[redacted]の伝説も含め、歴史を伝えてきた

	ことは間違いなく、それを景観遺産と見るか景観自慢と見るかという議論になるかという感じがします。
委　員	・現地で[redacted]さんに説明をしていただきまして、お祭り、祭礼などの話はあまりなかったのですが、昔からの[redacted]を大事に守っているという意味では、非常に感心して、なかなかないなと思いました。[redacted]には他にも[redacted]があると思うのですが、ここだけがこのように残っているという意味では、熱意は伺えると思います。もうちょっと何かあると、景観遺産という形もあるかなと感じます。
会　長	・建物の方で言いますと、一つ一つはそんなに古くないのですが、[redacted]の配置などはある種伝統的な所を示しているし、昔の[redacted]も土地に残しているなど、色々な意味で歴史の蓄積はあるけれども、それを景観遺産として見るかどうかというと、この辺りの感覚は委員の先生方も共有していただけるのではないかと思います。 ・子ども向けの遊具があったりするのもほっこりしますし、[redacted]としていまだに何らかの意味を持っているとすると、何も指定しないというのもどうかと思います。特徴的な景観には至らないとして、ご異論がなければ、景観自慢という取り扱いでいかがかなと思いますが、[redacted]委員いかがでしょうか。
委　員	・[redacted]がここで[redacted]という話や、非常に古い[redacted]であるということで少し過大評価してしまいましたが、昨年の[redacted]も、鎌倉街道とセットで評価した上で、景観自慢に留めていますね。
会　長	・そうですね。[redacted]自体は中世のものではないということで。
委　員	・[redacted]と鎌倉街道と同レベルという前提で評価しましたので、扱いとしては景観自慢でよいかと思います。
委　員	・この辺りが、大垣の始めとも言える[redacted]の発足地と言っても過言ではないということが、歴史的に一番評価されるべきではないかという気がします。鎌倉時代の[redacted]を前面に出すよりは、まず[redacted]の部分からと思いますし、景観自慢など、何らかの形では評価したいです。
会　長	・そうですね。[redacted]にも出てくるわけですから、古くからあった集落景観を今日に伝えているということで、今の[redacted]委員のご指摘も踏まえて、評価を工夫していただきたいと思います。その上で、選定として

	は景観自慢という取り扱いにさせていただきます。
会　長	・それでは、第1号議案につきましては、「[redacted]」は「[redacted]」として景観遺産に、2件目の「水門川沿いの武家屋敷跡板塀」については、この審議会としては景観遺産に選定ということで、今後、所有者と協議いただき、3件目「荻神社」につきましては、景観自慢として選定したいと思います。よろしいでしょうか。
全委員	・異議なし。
会　長	・ありがとうございました。 ・次に、第2号議案、「大垣市景観自慢の景観遺産への移行について」を議題といたします。 ・それでは、⑴「[redacted]」について、事務局から調査結果の説明をお願いいたします。
事務局 （都市計画課担当）	※調査結果の説明
会　長	・この調査につきましては、[redacted]委員に多大なるご尽力をいただきました。[redacted]委員の方から追加等ございましたら、お願いいたします。
委　員	・申し訳ありません、前回、獣害対策ではないかということを言いましたが、結論的には、水害及び用水確保の両面を狙ったものであったようです。獣害が無かったわけではなくて、お話を伺った方も、昭和の頃ですが、鉄砲を持っておられたり、苦労されていたことは間違いないのですが、この[redacted]の主たる目的はそうではないということです。 ・そういったことを80代半ばの古老とその弟さんがおっしゃいまして、聞いたところでは、[redacted]の方は、古いものは大正時代に遡るということです。 ・この[redacted]については、書いていただいたとおりの調査結果であったことをご報告させていただきます。
会　長	・ありがとうございました。曖昧なままではなくて、いつ頃、どういう目的で造られたのかはっきりさせることが、ものの価値を決めていくのかと思います。[redacted]委員のご尽力で、年代や、村人が自ら築き上げたという、背景も含めて調査いただきましたので、この物件の価値も定まったかと思います。 ・この[redacted]と、田んぼを分けるような[redacted]も含めた全体の景観という形で、評価いただいていたかと思います。どういう形で選定して、同意を取っ

	ていくかということは一度事務局で整理いただいて、[redacted]の景観遺産への移行について、委員の皆様方いかがでしょうか。 ・能登の災害等もありましたが、治水に対して、人々がいかに尽力してきたかということが、景観の形で残って示されているという意味では、非常に価値のあるものかと思います。[redacted]委員いかがでしょうか。
委　員	・丁寧に調査をしていただきありがとうございました。背景が分かったことでとてもすっきりしました。こうして[redacted]を[redacted]で造るというのはそんなに多くないと思いますし、地域の人々の努力が形になっているというのはとても興味深いです。
会　長	・ありがとうございます。それでは、「[redacted]」につきましては、特にご異論がなければ、景観遺産指定相当物件として選定することにいたします。よろしいでしょうか。
全委員	・異議なし。
会　長	・ありがとうございます。それでは、第1号議案とあわせまして、今回は、景観遺産の候補物件として3件、景観自慢の指定候補として1件を答申させていただきます。
会　長	【報告事項】 ・続きまして、次第３の報告事項に入ります。 ・報告事項⑴景観遺産第73号について、⑵大垣景観計画の一部改定（素案）について、⑶今後のスケジュールについて、事務局から報告をお願いします。
事務局 （都市計画課主幹）	※報告事項「⑴景観遺産第73号について」、「⑵大垣景観計画の一部改定（素案）について」、及び「⑶今後のスケジュールについて」を説明
会　長	・ありがとうございました。 ・大垣城につきましては、景観重要建造物に指定され、文化財景観といったような位置付けになりましたので、その周辺の景観形成のルール作りをしていこうということが示されました。 ・事務局からの報告について、ご質問等ありましたら、お願いいたします。
委　員	・大垣城周辺の情景区域に水門川の外側の道路が入っていないのですが、昭和初期の写真のような水門川沿いの風景を形成していこうというのであれば、道路の向こう側までを区域に入れた方が、より良いと思いま

	す。その辺りを歩くことを考えた時には、水門川の外側まで保全されていた方が良いのではないかと。これは意見のみです。
会　長	・その辺りのことについては、事務局の方でご検討いただいているのか、もしくは視野に入っていなかったか、いかがでしょうか。展望なり目論見があれば。
事務局 （都市計画課主幹）	・ご存じのとおり、水門川は大垣城の外堀ですので、まずはそこまで、城郭の中を何とかしようということで区域を設定させていただいております。今後の展開につきましては、[redacted]委員のご意見も参考にさせていただきながら検討させていただきます。
会　長	・今日の[redacted]も含めて、昭和初期の写真のように、水路まででではなくて、その向こうに見えている景色もとても大事です。そこを含めて評価していこうと考えた時に、周囲にバッファーを設けるのか、付随するポイントとして個別に見ていくのか、そういったことを想定せずに線を引かれたことを糾弾するという話ではありませんが、景観法に基づき景観計画を策定するということにおいては、文化財・史跡的な、物があった所までというレベルではなくて、その周辺の景観をどうするのかということも重要なんだろうと思います。 ・高山でも、伝建地区としてまちなみ保存地区はどんどん拡張していますが、それだけではなく、隣接する地域の景観計画もきちんと考えられているわけで、具体的に、施策として景観計画における接続部分をどうするのかということをきちんと配慮していかないと、何ともならないのではないかということです。
委　員	・概要版の14ページにこの昭和初期の水門川沿いの写真が入っていますので、この風景を保つということであれば、区域はそのままでも良いかもしれませんが、外側の所まで、運用の中ででも対応できれば、今日の課題等も解決できるかもしれませんので、是非ご検討いただきたいと思います。
会　長	・今日の議論で、いたずらにこの区域を広げろという話ではなく、景観形成の上で実効的な手立てを視野に入れているかということが大事であって、どこに線が引かれているかということよりも、むしろそちらの方が大事だということですね。 ・今日の[redacted]を入れるかどうかも含めて、接続部分をどう扱っていくのか、ひょっとすると、この周りに他にも城下町の景観に寄与するようなものがあるやもしれません。線引き云々だけではなく、打つ手は

	幾つもあると思いますので、接続部分にも目配せできるような、今後の施策のフレームワーク・制度設計を考えていただきたいという、重要なご指摘ですので、是非ともご検討いただきたいと思います。
会　長	・そのほかに、ご質問等はよろしかったでしょうか。 ・それでは、本日の議事は、以上で全ての審議が終了いたしました。 ・せっかくの機会ですので、全体を通して、ご意見等がありましたら、お願いいたします。
会　長	・ありがとうございました。本日の議事はこれで終了いたします。 ・これ以降の進行を、事務局にお返しします。
事務局 （都市計画課長）	・溝口会長をはじめ、委員の皆さん、現地審査及びこの審議会と、本日は長時間にわたり、大変お疲れさまでございました。 ・お示しをさせていただきました今後のスケジュールに沿って、進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。 ・本日、ご意見をいただきました大垣市景観計画の一部改定につきましても、事務局の方でしっかりと揉みながら、またご相談させていただければと思います。今後、都市計画景観審議会に諮るものでもございますので、慎重かつ丁寧に対応してまいります。 ・それでは、以上をもちまして審議会を閉会とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。 ※閉会 （終了時刻　17:00）